

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、交通事故が多発する中、瀬戸市は本当に市民を守れているのか</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市は平成4年4月に「交通安全都市宣言」を行い、交通安全の確保を掲げてきましたが、近年、市内の交通事故は高止まりの様相を呈している中、令和7年12月と令和8年1月には、市内で交通死亡事故が発生し、宣言と実態の乖離が懸念されます。</p> <p>瀬戸市交通安全条例には、第5条(道路交通環境の確保)、第6条(交通安全教育の推進)、第7条(団体への助成)、第9条(死亡事故等発生時の措置)など、市の責務と手立てが明記されています。</p> <p>(続く)</p>	<p>(1) 現状認識について (直近の交通事故統計と現状の分析・認識)</p> <p>(2) 構造的課題について (情報の「見える化」と危険箇所管理)</p>	<p>① 本市の直近3年間の交通事故件数、死亡・重傷事故件数の推移と、そのうち児童・高齢者・交差点事故が占める割合について伺います。</p> <p>② 近隣自治体と比較して本市が相対的に高い事故類型及び当事者属性は何か。併せて、本市が特定している重点課題及びワースト項目は何か伺います。</p> <p>③ 危険箇所の特定基準および優先順位決定基準は何か。指摘から対策実施までの平均期間と、対策後の効果検証方法についても伺います。</p> <p>① 死亡・重傷事故件数、児童事故、高齢者事故について明確な削減目標(KPI)を設定し、進捗管理しているか。県平均や同規模自治体との比較、公表の頻度についても併せて伺います。</p> <p>② 事故発生箇所、対策実施箇所、効果測定を統合的に公開しているか伺います。</p> <p>③ 事故集中箇所、通学路点検結果、横断歩道の摩耗、夜間照度不足等の情報が、「危険箇所マスターデータ」として統合・公開されているか伺います。</p> <p>④ 市民が地図上で把握できる仕組みはあるか伺います。仮に不十分である場合の障壁は何かも伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>そこで、今回も本市の現状を確認したうえで、課題認識と解決の考えを伺い、それを踏まえた本市の課題解決策を提起させていただきます。</p> <p>今回の質問を契機に、市民の皆様が安全・安心を実感できるものへと進化することを期待して、市の見解を伺います。</p>	<p>(3) 行動変容を促す「ターゲット別対策」について</p> <p>(4) 迅速かつ科学的な課題解決のための「具体的処方箋」の提案について</p>	<p>① 交通安全教育が「回数・人数」の集計に留まっていないか、ヘルメット着用率や反射材携行率など、市が自ら調査し「安全行動指標」を数値化して、次年度の啓発に反映する仕組みを構築すべきではないか伺います。</p> <p>② 外国人向けの多言語・動画発信、高齢者の実走型講座と「返納・移動支援のワンストップ化」、事業者へのドライブレコーダー活用支援など、特性に応じた具体的な状況と、どの層に対して重点的に取り組んでいくべきと考えているのか伺います。</p> <p>① K P I とベンチマークの明確化、および進捗の可視化について、現在、本市の交通安全施策には、成果を客観的に検証するための明確なK P I (重要業績評価指標) および、他自治体と比較可能なベンチマークが欠如していると認識しています。そこで、実効性ある「交通安全都市」への転換に向け、以下の具体的な数値目標の設定を提案します。</p> <p>(1) 3年間で「死亡・重傷者数」を20%削減</p> <p>(2) 1年間で通学路における「重傷事故」を30%削減</p> <p>(3) 1年間で高齢歩行者の事故を25%削減</p> <p>(4) 1年間で事故多発交差点での重大事故を40%削減</p> <p>(続く)</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>これらの目標に対し、単なる発生件数ではなく、人口や車両保有台数あたりで補正した「事故発生率」として算出し、県平均や同規模自治体と比較分析した結果を、四半期ごとに公表する仕組み（交通安全ダッシュボード等）を構築すべきと考えますが、市の見解を伺います。あわせて、こうした「数値による目標管理と公表」が現時点で困難であるとするならば、具体的に何が障壁となっているのか伺います。</p> <p>② 市民にとって最も不安なのは、危険箇所を指摘しても『いつ対策されるのかが見えない』という点です。そこで、危険箇所の調査開始から対策の設計、そしてカラー舗装やポール設置といった『暫定措置』の完了までを、最大 90 日以内に履行するというタイムラインを明文化した『迅速解決 90 日ルール』の導入をすべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>③ 着手の判断を早めるため、警察や道路管理者と共有可能な『共通優先順位チェックリスト』を策定すべきと考えますが、市の見解を伺います。仮に策定が困難であるとするならば、具体的に何が障壁となっているのかも伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ 通学路の安全対策は、単発対応ではなく、ゾーン 30 プラスを軸に、ハンプ・狭さく・カラー舗装・夜間 LED 増灯等を組み合わせた面的整備へ転換すべきです。教育委員会・警察・道路管理者による合同点検を実効性あるものとし、その結果を速やかに予算化する「優先路線 3 年集中整備計画」を策定する考えについて伺います。</p> <p>⑤ 上記計画の財源について、一般財源に加え、企業版・寄附型ふるさと納税など外部財源を活用する仕組みを導入していると思うが、整備の実績について伺います。</p> <p>⑥ 交通安全助成金（条例第 7 条）の「成果連動型」への転換と透明化が必要と考えます。具体的には、公募プロセスの透明化と脱・前年踏襲、「成果連動型」加点制度の導入、第三者評価による客観性の担保を導入すべきと考え、見解を伺います。「成果連動」や「客観評価」の導入が困難な場合、その障壁は何かについても伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 市長の政治決断:交通安全対策のアップデート	<p>① 交通安全は、市民の命と暮らしを守る、まさに行政の存在意義に関わる『最前線』の課題です。私が本日提案した『KPI による結果への責任』『90 日以内の迅速解決ルール』『通学路へのゾーン 30 プラス集中展開』そして『助成金の成果連動と見える化』。これらは、本市の『交通安全都市宣言』を、単なるスローガンから『市民の命を守る実効性ある装置』へと進化させるための具体策です。重傷者数が増加に転じている今、もはや『やったつもり』の啓発活動の繰り返しでは、悲惨な事故を根絶することはできません。『事故は、仕組みで減らせる』。この強い信念を、これら具体的提言の社会実装によって示していただきたい。市民の命を預かるトップとして、本市の交通安全行政を『経験と勘』から『データとスピード』に基づいた科学的な経営へとアップデートする決意と、今後の実践に向けた展望を市長に伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。